

# 総務経済建設常任委員会報告

(所管事務調査報告)

日 時 平成24年10月15日

調査地 山梨県南アルプス市

調査事項 「防災計画」について

東日本大震災が発生し、1年7ヶ月が過ぎました。東京湾北部地震や南海トラフ巨大地震が、高い確率で発生すると報道されています。滑川町の防災マニュアルや防災、減災対応の充実を図る目的で調査を実施しました。



南アルプス市役所にて



## 南アルプス市地域防災計画について

南アルプス市は、2003年4月1日に隣接する6町村が合併して誕生した人口7万2000人余りの自治体です。山梨県最西端に位置し、国内第2位の標高3193mの北岳を筆頭に南アルプス北部の高峰、名峰が連なる市です。それらを源流とする川の氾濫によってできた国内最大級の扇状地が大部分を占めています。

### 自 助

自分の身は自分で守る自助の手助けとして、発災するまでに個人ができることの啓発や、住宅の耐震診断に重点を置いています。

7万人規模の団体にして

は、総務部に4人体制で危機管理室まで設置して、海上自衛隊のイージス艦艦長経験者を危機監理官にしている市は珍しいところ です。

### ま と め

滑川町でも首都直下・東海・東南海地震等の影響は相当大きいものと想定して、防災から減災へという観点を明確にしなければなりません。

### 共 助

共助の役割を地域の防災組織を活用することで、地域住民の安否確認という防災組織としての役割を明確にし、そのことが速やかに行われるように地域住民の安否確認シートを作成し、訓練をしています。

山梨県では、危機管理室を設置する市が増えてきています。

### 滑川町との比較

滑川町とは、団体規模が違うのでマンパワーの差もありますが、南アルプス市の大部分が日本最大といわれる扇状地にあることや、東海・東南海地震等が懸念される静岡県に隣接していることや、富士山の噴火までのことを想定すれば、起こりうる災害の種類や規模は、滑川町の比ではなく、危機感が違うのかもしれない。

自分の身は自分で守るための啓発活動やアナウンスはもちろん、地域防災組織を実施するべきだけ限定し、明確にした上での訓練や取組を実施するべきと考えます。

### 公 助

公助に当たる災害対応マニュアルなどの計画も含めて、市規模の団体では似たような防災計画になっています。

また滑川町は、小さな団体ゆえ、いざとなったらマンパワー不足で災害対応に遅れないように、比企広域での災害対応連携を強化した計画を作るべきと考えます。

# 総務経済建設常任委員会報告 (所管事務調査報告)

日 時 平成24年10月16日  
 調査地 静岡県地震防災センター  
 調査事項 静岡県における地震対策について

静岡県は、東海地震、東南海地震、南海地震の地震被害を想定し、第一次から第三次にわたりマニュアルの整備をしてきました。

東日本大震災を踏まえ巨大地震、津波の対策が必要になり、平成24年度に「静岡県第4次被害想定対策会議」を設置し策定に取り組んでいます。



静岡県地震防災センターにて



## 静岡県における地震対策について

静岡県を含む東海地域は、以前から近い将来大地震の発生する可能性の高い地域として、地震予知連絡会の「観測強化地域」に指定されてきました。

駿河湾を震源とするマグニチュード8程度の大地震が明日起きてもおかしくはないという「東海地震説」の発表以来、静岡県では、地震対策を緊急かつ重要な課題として、様々な対策を推進してきているとのことだ。

平成元年に開館した静岡県地震防災センターは、県が運営する地震防災の啓発センターであり、専門のインストラクターの解説がつき、体験しながら地震防災について学ぶことができます。まさに地震防災先進地の施設でした。

東日本大震災以降、マスクミ等で使われた津波のコンピュータグラフィックス映像などは、危機迫る迫力に圧倒されるものであり、東日本大震災で起きた津波の実映像に近いものでした。

静岡県は、駿河湾を抱え、その海沿いの人口密度は高く、東海・東南海・南海の大規模地震が発生すれば、当然のこと東日本大震災を大きく

超える津波の被害が想定されます。東日本大震災前にこの映像が公開されていたわけですから、津波に襲われる可能性のある地域の人々や各地の防災関係者にもっと認識され、活かされなかつたか悔やまれました。

静岡県は、地震防災の先進地として、早くからハードな防災インフラの整備を推進しているところですが、防災から減災への流れの中で、ソフト面でも様々な取組が実施されてきました。

一般の県民やボランティアを対象にした避難所運営ゲームHUGや災害図上訓練DIG。静岡県全戸に配布した、自分の身は自分で守るため、

発災前に家庭内の危険箇所を把握し、体策を講じるための家庭内DIGなどは、すぐにも滑川町の全家庭に配布したいものでもあります。

県の危機監理官からの説明によれば、東日本大震災以降一般の来館者はもちろんのこと、県外の自治体関係者が増えているとのことでした。

当日も我々が在館している間にも静岡県内の地域防災組織の人たちと、子ども連れの家族が訪れていました。

滑川町の地域防災組織の視察研修地にも適していると思えます。

# 文教厚生常任委員会報告

(所管事務調査報告)

## 新潟県見附市 スマートウエルネスみつけについて 奥只見水力発電所 自然エネルギー施設視察

10月24日・25日、平成24年度県外所管事務調査を行いました。

今回の調査事項は、今後の超高齢・人口減社会における、社会保障費増大が予想され、そのため「健康施策の推進」で早急な手だてが必要となったことによるものです。

平成23年12月「健康長寿社会を創造するスマートウエルネスシティ総合特区」の指定を受け、健康増進策を市民一体で進めている新潟県見附市の実施状況について視察研修しました。

また、奥只見発電所は、滑川町にも縁が深い発電所であり、町内には、東京に送電する奥只見幹線が通過しています。詳しい内容について研修しました。



健康運動教室 (見附市)

### 【まとめとして】

見附市は滑川町と同じように、後の社会保障費の増大の系図が見込まれる中で、この施策の取り組みを平成6年から開始しました。

結果として、健康運動教室参加者の体力年齢が開始後30ヶ月で約15歳の若返り、医療費抑制においては開始4年後で年間1人あたり10万円の軽減という数値が示され説得力を感じました。

滑川町は、平均年齢が若い町にも

## スマートウエルネスみつけの推進

ウエルネス (= 健幸) をこれからのまちづくり政策の中核に据え、健康に関心のある層だけが参加するこれまでの施策から脱却し、市民誰もが参加し、生活習慣病予防及び寝たきり予防を可能とするまちづくりを目指す。

健康になれる  
まちづくり  
道路 公園  
景観 交通

地域が元気な  
まちづくり  
経済活動  
産業育成 交流

環境に優しい  
まちづくり  
新エネルギー  
ごみゼロ

健幸を理解し  
行動する  
まちづくり  
教育 啓発

### ◎いきいき健康づくり (狭義の健康施策)

#### 食生活

食育の推進  
日本型食生活の推進

#### 運動

健康運動教室  
脳の健康教室

#### いきがい

ハッピータイムメント事業  
市民ぐるみの景観緑化  
心の健康

#### 検診

検診の充実  
健康の駅

### ◎健康運動教室の目的

中高齢者の寝たきり(介護)予防 > 健康で楽しく  
中高齢者の健康維持増進 > 活力に満ちた社会実現

### ◎健康運動教室の効果

体力年齢の若返りと医療費の抑制効果を実証

### ◎健康運動教室の仕組み

産官学 (筑波大学発のベンチャー企業) (見附市) (筑波大学) ⇨ 連携での取り組み

### ◎健康運動教室の課題

1. 興味を示さない住民に対しての効果的な動機付け
2. 継続参加者に対する支援策の充実
3. 健康は社会的な課題であることの理解  
(種々の課題対策を実施したが近年の新規参加者数  
継続参加者数共に伸び悩んでいる)

## 「奥只見水力発電所」

昭和35年運転開始以来、日本経済の電力需要を支え続けています。滑川町内を通過している奥只見幹線は、15年前に鉄塔改修工事が行われ、高さ70mから100mになっています。電力も27万5千ボルトから100万ボルトに送電量が増圧されています。

水力発電は、火力発電・電子力発電に比べて二酸化炭素、放射能、私たちに脅かすものは何もなく、飲料水・洪水の防止など多くの機能を備えています。

# 文教厚生常任委員会報告

## つきのわ保育園 白い馬保育園 が認可保育園に

11月8日・午前10時より協議会を開催し、ハルム保育園・つきのわ保育園・白い馬保育園の3保育園を訪問・視察しました。

### ハルム保育園

#### 保育目標

- 一人ひとりの子どものよさと可能性を伸ばしていく。
- 豊かな生活経験を積み重ねながら、生きる力の基礎を培う。
- よく見、よく聞き、よく考える子どもに育てる。
- 健康な体の基礎をつくる。



### つきのわ保育園

#### 保育目標

- 心豊かな子
- 思いやりをもって友だちを大切にする子
- 仲間と協力しあえる子



和太鼓の練習



ハルム保育園の子どもまつり

### 白い馬保育園

#### 保育目標

- どの子も愛し愛され、人と人との深い絆を結ぼう。
- 命を大切にしよう。
- 小さな失敗の中から、大切なことを学ぼう。
- 自分も大切だけれど、仲間も大切にできる人になろう。
- 我が子だけではなく、仲間の子どもも共に育ちあおう。
- 異年齢保育の中から、関わり方を学びあおう。
- 自然環境・自然物を大切に考えよう。
- 学童と保育園児の関わり方を大切にし、優しさや憧れの気持を育てよう。



元気に遊ぶ子どもたち

### まとめ

●ハルム保育園は、こだわりの食事とおやつに取り組み「食事やおやつ」の展示を行い、親子のコミュニケーションに役立てています。

●つきのわ保育園は、論語の暗唱や太鼓の演奏など、特徴のある課題に力を入れていきます。

●白い馬保育園は、小高い丘陵に木のぬくもりの新しい園舎でのびのびとした保育を行なっています。

以上、3園ともそれぞれ特徴を生かした保育を行ない、町の子育て支援を応援してくれています。なお、平成24年11月より新たに2園が認可保育園になり、より保育の充実が図られています。



# 我が町政を問う 一般質問

12月定例会では、6人の議員から15件の※一般質問が行われ、2日間にわたり、町政全般について活発な議論が展開されました。質問と答弁の要約内容は10ページから15ページです。なお、全文記録(議事録)については、3月中に滑川町ホームページ (<http://www.town.namegawa.lg.jp>) に掲載しますのでご覧ください。

## ●北堀 一廣(10ページ)

- ・羽尾十三塚地内の道路整備計画
- ・町道122号線舗装補修の進捗状況

## ●上野 廣(11ページ)

- ・コミセンに防災機能を備えた大ホール建設を
- ・ため池の保全・整備・活用状況

## ●北村 徳章(12ページ)

- ・滑川町の総合振興計画

## ●森田 泰雄(13ページ)

- ・自主防災組織
- ・防災行政無線対策
- ・買い物弱者対策
- ・ゴミ排出量削減を目標として

## ●上野 憲子(14ページ)

- ・消費者庁貸与の放射性物質検査機器の活用状況
- ・「健康づくり」の地域推進会議をふまえて今後の実践

## ●大山 尚美(15ページ)

- ・コンビニにおける証明書等の交付
- ・次世代育成支援推進
- ・小型家電リサイクル法
- ・こころの体温計

一般質問は  
次ページより

※一般質問＝議員が町の行財政にわたる執行状況や将来への方針等について所信を聞き、報告や説明を求め疑問点を質すこと。

## 議会運営委員会報告 (所管事務調査報告)

11月15日、宮城県松島町を訪問し、東日本大震災の復興状況と議会基本条例について所管事務調査を行いました。なお、滑川町は松島町と11月3日、災害相互支援協定を締結しました。

### (1) 東日本大震災の復興状況について

平成23年3月11日発生時からの被災者の避難所・状況等、公共施設の被害、交通状況等、パワーポイントでの説明を受けました。復興に向けての震災復興計画を平成23年度から

平成27年度までを目途に立て、計画コンセプト「復興」で、「創造」「貢献」としました。

#### ○基本理念

1. 絆と協働を基調とした「復興」
2. 復興による新しい松島の「創造」

### 3. 連携による広域的な「貢献」

災害相互支援協定については2市・2町との協定書取り交わしを行い、3市、1区、2町が松島町への災害派遣職員支援を行っているとのことです。

### (2) 松島町議会基本条例について

#### ① 制定の経緯

議会は、自由闊達な討議を通じて、これらの使命を達成するため、議員間の自由な討議の展開、町長等の行政機関との持続的な緊張の保持、議

員の自己研鑽と資質の向上、公正性と透明性の確保、議会活動を支える体制の整備等について、平成20年3月に制定したものです。

#### ② 議会報告会の状況

報告会は議会活動を報告し、意見・町政に対する提言等を聴取して、議会運営・行政執行に反映させています。

#### ③ 町長の反問権

議長から本会議並びに常任委員会及び特別委員会への出席を要請された町長等は議員の質問に対して議長または委員長の許可を得て反問することができます。

## まとめ

松島町議会では、二元代表制の一方の機関として、町民の意思や希望等を町民との対話を行うことによって、的確に把握し、吸い上げ、反映させることが使命の一つであるとしています。

そのため、議会の公平・透明性を保ちつつ、議員活動を明確にするために、特に議会報告会では、町民に議会活動の内容をはっきりと理解してもらうよう努力しているところがうかがえます。